



しののめYMCAこども園 園だより

2016年度5月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

5月の聖句 神は愛です ヨハネによる福音書4章16節

新学期が始まって、1ヵ月が経ちました。毎朝園庭の門で待っていると、大きな声で「おはようございます！」と挨拶をしてくれます。なかには、走ってくる子や飛びついてくる子もいます。

まだ慣れていない年少さんにとっては、大きなお兄さんやお姉さん達の登園の様子に驚いたかもしれません。今は「タッチ！」でご挨拶をしています。慣れてきたらぜひ、園長先生や中道先生に飛び込んできてください。

さて先日、熊本県を大きな地震が襲いました。まだ余震も収まらず不安な日々が続いています。一刻も早く収まることを願うばかりです。その日、各担任が「朝の会」でこの震災について、園児達にお話をしました。「私達にできることは何なんだろう」そんな問いかけから始まり、「水を贈ろう」「ご飯を贈ろう」「家を建ててあげよう！」・・・様々な意見が出て、なかには「お祈りをしよう！」「神様がいるから大丈夫！」・・・という心温まる意見も出たそうです。

今震災を受けた人達にとって、何が一番必要かを話し、募金を集めようということになり、その日の降園時から、募金活動を始めるに至りました。

お陰様で2日間で110,091円の募金が寄せられ、日本YMCA同盟を通じて、熊本YMCAに届けられることとなりました。皆様方のご理解とご支援に、心から感謝申し上げます。

「何でも欲しがるとは一番貧しい人である」と、先日来日した元ウルグアイ大統領ムヒカ氏は語りました。対照的にバトミントンオリンピック候補として期待されていた選手は賭博で捕まり、「強くなれば、僕のように優勝賞金を手に入れ、綺麗に着飾り、欲しい物を手に入れられる。そんな生活に憧れを持たせることをしたかった」と語りました。外見では無く、今助けや寄り添って欲しいという気持ちをしっかりと受け止め、何ができるのだろうと考える心。そして「手に入れる心」ではなく、「分け与える心」を持つ人が「豊かな人」ではないでしょうか。

豊かな人をこれからも育てていきたいと思えます。

園長 堀江和広